

施策案に対する意見等の概要と意見等に対する市の考え方

番号	質問	回答
1	<p>環境の世紀、気候変動、温暖化、脱炭素、きわめて深刻な大切な課題であり具体的な施策が必要と思われます。太田市は太陽光発電ギネスに記されるくらい積極的にとりいれ又、バイオマス発電も具体化し、群馬県内でも電気の地産地消の模範的な市であると思う。</p> <p>自然と人が共生することを考えると山肌に太陽光の設置これからは、一考の余地があるかもしれません。太陽光パネルの将来の廃棄処分も課題になると思う。自然災害、地震、台風に備えた気候変動適応策も具体的に必要と思えます。温室効果ガス排出量を2026年、2030年度までに2013年度比で32%、46%削減の実現は、かなり具体策を打ち出さないと難しいと思われます。群馬県の5つのゼロ宣言と並行して、また、国もようやく本腰をいれて環境問題温暖化に取り組む体制なので国県市で一体化を望みます。</p>	<p>太陽光発電施設の普及は地球温暖化対策の観点から望ましいものでありますが、気候変動に伴い激甚化している自然災害への対応や環境保全については喫緊の課題であると考えております。ご指摘いただいた太陽光発電などの再生可能エネルギーの供給施設の設置については、今後より一層の自然災害への対応や周辺環境との調和といった配慮が必要であると考えております。</p> <p>また、温室効果ガス排出量についても、市民及び「ものづくりのまち」を支える産業界にも協力・理解を求め、国や県の施策と連動した一体的かつ効果的な取り組みを実施し、引き続き目標達成を目指します。</p>